

滝小だより



2025年(令和7年)

『ひびきあう ことば・こころ・こうどう』

○ことば:「よく考える子」

○こころ:「思いやりのある子」

○こうどう:「ねばり強い子」



新学期を迎えて

2学期が始まりました。長い夏休みの間、大きな事故等の連絡もなく、子どもたちが9月1日に元気に登校する姿を見て、まずはほっといたしました。今夏は、気象庁からも「過去最高の暑さだった」との発表がありました。子どもたちが安心して外で遊べないほどの厳しい暑さで、公園や街中も静まり返っているように感じられました。この暑さはまだしばらく続く見込みです。学校では、体育や休み時間を含め、子どもたちの様子をしっかり見守り、熱中症対策に引き続き努めてまいります。登下校時の暑さも心配されますので、下校前には水分補給を促すなどの声かけを行っています。ご家庭におかれましても、帽子の着用、十分な水分のご用意、そして睡眠や食事をしっかりとるなど、お子様の体調管理にご留意ください。行事や学習の多い2学期を元気に過ごせるよう、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

さて、みなさんは、RADWIMPS の「正解」という曲をご存じでしょうか。私はこの春、娘の高校の卒業式で初めて聴きました。そのとき、私が教育に携わる者であることも影響してか、「ああ 答えがある問いばかりを 教わってきたよ そのせいだろうか」(作詞・作曲:野田洋次郎)という歌詞が、やたらと耳に残りました。「学校は若者にとって、そんな場所になってしまっているのだろうか。本当は学べるものがたくさんあるのに……」と、残念な気持ちになりました。もちろん、その後に歌詞全体を読み込んでみると、その思いは必ずしも学校にだけ向けられたものではなく、主に学校で出会った友人たちとの関わりの中での、正直な思いや悩みが綴られていることに気づきました。そしてそれは、人生の大きな転機に差し掛かった多くの18歳に寄り添い、応援する歌なのだということが、すぐに理解できました。

では、学校で何をすべきなのでしょう。いろいろありますが、一番大切なのはやはり「学び」だと思います。なぜなら、子どもたちが学校で最も多くの時間を費やしているのが、学びだからです。6月号の学校だよりでは「評価」について書かせていただきましたが、その中で「3観点」に触れました。文部科学省はこの3観点について、さらに詳しく説明しています(斜体部分)。

「*実際の社会や生活で生きて働く 知識及び技能*」

「*未知の状況にも対応できる 思考力、判断力、表現力など*」

「*学んだことを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力、人間性など*」

このような願いが制度として始まったのは2020年。一方、「正解」という曲が披露されたのは2018年でしたので、この曲の先見性と深さがうかがえます。現在の小学生が高校を卒業する頃には、文部科学省の願い通りにいけば、「正解」の歌詞に描かれているような不安や悩みが完全にはなくなることはないとしても、少なくとも「どうしていけばよいか」を自分なりに考え、行動できる力が育っていることが期待できますが、これは学校にとって、とても難しい課題です。

しかし、子どもたちの未来のために、私たちができることをひとつずつ実践していきます。私たちが最も力を入れたいことは、子どもたちの中から「問い」が生まれることです。「教える」のではなく、「学びたいくなる」ことをめざしています。アニメやゲームに熱中している子が多いことから、子どもたちは興味を持ったことに対しては、本当に一生懸命に学ぶことは明らかです。「勉強=嫌なもの」というイメージが先行しがちですが、実際には、子どもたちは「学ぶこと」そのものを嫌っているわけではなく、むしろ学びたいという気持ちを持っているのではないのでしょうか。始業式では、子どもたちに「学校で気になることをたくさん見つけて、自分なりに調べてみてほしい」「やりたいことを見つけて、その実現に向けて自分でよく考えたり、



さまざまな大人にアドバイスを求めたり、友達と協力しながら取り組んでいこう」という話をしました。また、あらためて本校の大切にしている「3つの子」について、次のように伝えました。

「考えたくなることをたくさん探してみましょう」

「思いやりのある言葉や行動をしてくれた人がいたら、それを真似してみましょう」

「目標や問いを見つけて、ねばり強く取り組むことを増やしていきましょう」

本校での学びが、子どもたちの将来につながるように、教科の学習についても、子どもたちが「学びたくなる」ような指導を工夫していきたいと思います。誰にとっても実りある2学期にしていきたいと思っています。

お知らせとお願い

◆5年生保護者様 ミシンボランティア募集します！

滝の沢小学校では、保護者の皆様に「できる人が、できる時間に、できること」を教育活動の様々なところでお手伝いをいただけたらと思っております。5年生は、家庭科の学習で新しくミシンの使い方を学びます。可能な時間だけでかまいませんので、お手伝いいただけましたら大変ありがたいです。後日、日程や申し込み方についてお便りを配付させていただきますので、詳細はそちらをご覧ください。



◆青少年指導員と子どもサポート会議委員の選出について



今年度は、2年に1度の青少年指導員・子どもサポート会議委員の改選期にあたります。本校にはPTA組織がないことから、例年2・3年生（来年度3・4年生）の保護者の中からご協力いただける方を募らせていただいております。各委員の活動内容等の詳細は後日ご連絡いたしますので、それまでにご検討いただけましたら幸いです。子どもたちの健やかな育成のため、どうぞご協力をお願いいたします。

【本校で募集を行っている委員及び学年一覧】

- ・ふじさわの子どもたちのためにつながる会学校代表者（6年生から1名：毎年）
- ・学校運営協議会委員（4・5年生から各1名：2年毎）
- ・青少年指導員2名、子どもサポート会議委員1名（2・3年生から：2年毎）

10月の主な行事（変更することもあります）

1日（水）3・4年授業参観・懇談会 2日（木）・3日（金）6年修学旅行 3日（金）給食試食会
8日（水）運動会係活動 9日（木）先生の研究会のため午前授業 10日（金）3年市内めぐり
16日（木）藤沢市総合かがく展（～22日） 22日（水）運動会係活動 27日（月）午前授業
31日（金）運動会前日準備のため1～4年午前授業、5・6年5時間授業

9月27日（土）には、「ポイ捨て無くし隊」があります。地域の生活環境協議会が主催し、湘南大庭地区内の各小学校を起点に、年4回、1時間ほどかけて街をきれいにする取組です。実際にごみ拾いに参加してみると、集まるゴミの多さに驚かされます。どなたでも参加できますので、ぜひお散歩がてらご家族でご参加ください。自分たちの街がきれいになるだけでなく、子どもたちの郷土愛や道徳心を育む、意義のある活動です。